



# Cisco IP 電話 8800シリーズ マルチプラットフォーム フォンハードウェア

- [Cisco IP 電話の概要 \(1 ページ\)](#)
- [電話機の概要 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco IP 電話 8811 \(3 ページ\)](#)
- [Cisco IP 電話 8841 および 8845 \(4 ページ\)](#)
- [Cisco IP 電話 8851 \(6 ページ\)](#)
- [Cisco IP 電話 8861 および 8865 \(7 ページ\)](#)
- [ボタンとハードウェア \(8 ページ\)](#)
- [用語の違い \(11 ページ\)](#)

## Cisco IP 電話の概要

Cisco IP 電話 8800シリーズ マルチプラットフォーム フォンは、IP ネットワーク経由で音声通信を実現するフル機能の VoIP (Voice-over-Internet Protocol) 電話機で構成されます。これらの電話機は、コール転送、リダイヤル、短縮ダイヤル、コール転送、会議コールなど、従来のビジネスフォンのすべての機能を提供します。Cisco IP 電話 8800シリーズ マルチプラットフォーム フォンは、サードパーティ SIP ベースの IP PBX を中心としたソリューションを対象としています。



(注) このマニュアルで、「Cisco IP 電話」または「電話機」は Cisco IP 電話 8800シリーズ マルチプラットフォーム フォンのことを指しています。

## 電話機の概要

Cisco IP 電話 8811、8841、8845、8851、8861、および 8865 は、インターネットプロトコル (IP) ネットワーク経由の音声通信を提供します。Cisco IP 電話は、デジタルビジネスフォンとほぼ同様に機能し、コールの発受信に加えて、ミュート、保留、転送、短縮ダイヤル、

コール転送などの機能を使用できます。また、データネットワークに接続するため、IP テレフォニー機能が拡張され、ネットワーク情報やサービス、およびカスタマイズ可能な機能やサービスにアクセスできるようになります。

Cisco IP Phone 8811 には、グレースケールの LCD 画面が搭載されています。

Cisco IP 電話 8841、8845、8851、8861、および 8865 には、24 ビットのカラー LCD 画面が搭載されています。

Cisco IP 電話の機能は次のとおりです。

- 最大 10 回線をサポートするプログラム可能な機能ボタン。このボタンには他の機能をプログラムすることもできます。
- ギガビット イーサネット接続機能
- ワイヤレス ヘッドセット用 Bluetooth のサポート (Cisco IP 電話 8845、8851、8861、および 8865)
- 外部マイクおよびスピーカーのサポート (Cisco IP Phone 8861 のみ)
- Wi-Fi によるネットワーク接続機能 (Cisco IP 電話 8861 および 8865)
- USB ポート :
  - Cisco IP 電話 8851 用 USB ポート X 1
  - Cisco IP 電話 8861 および 8865 用 USB ポート X 2
- 最大 3 台のキー拡張モジュールをサポート :
  - Cisco IP 電話 8851 は 2 台のキー拡張モジュールをサポート
  - Cisco IP 電話 8861 は 3 台のキー拡張モジュールをサポート

Cisco IP 電話は、他のネットワーク デバイスと同様に設定と管理を行う必要があります。これらの電話機は、以下のコードでエンコードおよびデコードされます。

- G.711 a-law
- G.711 mu-law
- G.722
- G.722.2/AMR-WB
- G.729a/G.729ab
- iLBC
- OPUS
- iSAC

Cisco IP 電話は、コール転送、リダイヤル、短縮ダイヤル、電話会議、ボイスメール システムへのアクセスなど、従来のテレフォニー機能を提供します。Cisco IP 電話では、さらにその他の各種の機能も提供します。

Cisco IP 電話は、他のネットワーク デバイスと同様に、サードパーティ コール制御システムおよび IP ネットワークの他の部分にアクセスできるように設定する必要があります。DHCP を

使用すると、電話機上で設定する内容が少なくなります。ただし、ネットワークで必要な場合は、IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイ、プライマリ/セカンダリ DNS サーバなどの情報を手動で設定できます。

Cisco IP 電話は、IP ネットワーク上の他のサービスやデバイスと連携することで、高度な機能を提供できます。たとえば、サードパーティ コール制御システムを社内の Lightweight Directory Access Protocol 3 (LDAP3) 標準ディレクトリと統合すると、ユーザが同僚の連絡先情報を IP 電話から直接検索できるようになります。

Cisco IP 電話を IP テレフォニー ネットワークで機能させるには、IP 電話を Cisco Catalyst スイッチなどのネットワーク デバイスに接続する必要があります。また、コールを送受信する前に、Cisco IP 電話をサードパーティ コール制御システムに登録する必要もあります。

さらに、Cisco IP 電話はネットワーク デバイスであるため、詳細なステータス情報を電話機から直接取得することができます。この情報は、ユーザが IP 電話を使用しているときに生じた問題をトラブルシューティングするのに役立ちます。また、現在のコールに関する統計情報や、ファームウェアのバージョンも電話機で取得できます。



---

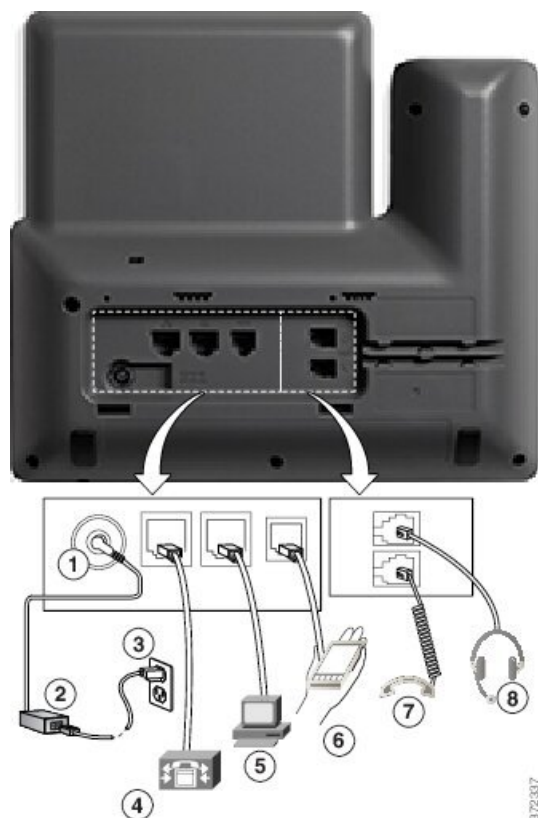
**注意** セル方式の電話、携帯電話、GSM 電話、または双方向ラジオを Cisco IP 電話のすぐ近くで使用すると、相互干渉が発生することがあります。詳細については、干渉が発生するデバイスの製造元のマニュアルを参照してください。

---

## Cisco IP 電話 8811

### 電話機の接続部

次の図に示されているように、組織の IP テレフォニー ネットワークに電話機を接続します。



1	DC アダプタ ポート (DC48V)。	5	アクセスポート (10/100/1000PC) 接続
2	AC-DC 電源装置 (オプション)。	6	補助ポート
3	AC 電源コンセント (オプション)。	7	ハンドセットの接続。
4	ネットワークポート (10/100/1000 SW) 接続。IEEE 802.3at 電源対応	8	アナログヘッドセットの接続 (オプション)。



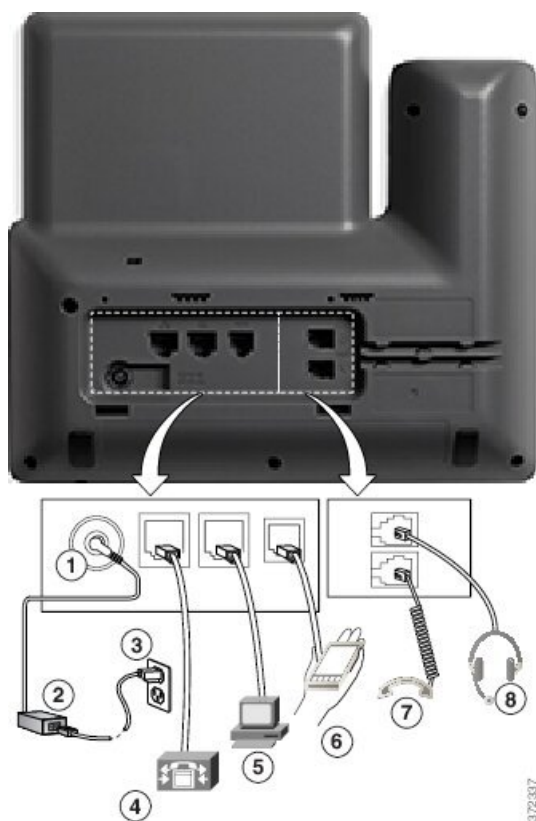
(注) Cisco IP Phone 8811 はキー拡張モジュールをサポートしていません。

## Cisco IP 電話 8841 および 8845

次のセクションでは、Cisco IP 電話 8841 および 8845 の属性について説明します。

## 電話機の接続部

次のダイアグラムを使用して、電話機を会社の IP テレフォニー ネットワークに接続します。



1	DC アダプタ ポート (DC48V)	5	アクセス ポート (10/100/1000 PC) 接続
2	AC-DC 電源装置 (オプション)。	6	補助ポート
3	AC 電源コンセント (オプション)。	7	ハンドセットの接続。
4	ネットワーク ポート (10/100/1000 SW) 接続。IEEE 802.3at 電源対応	8	アナログヘッドセットの接続 (オプション)。

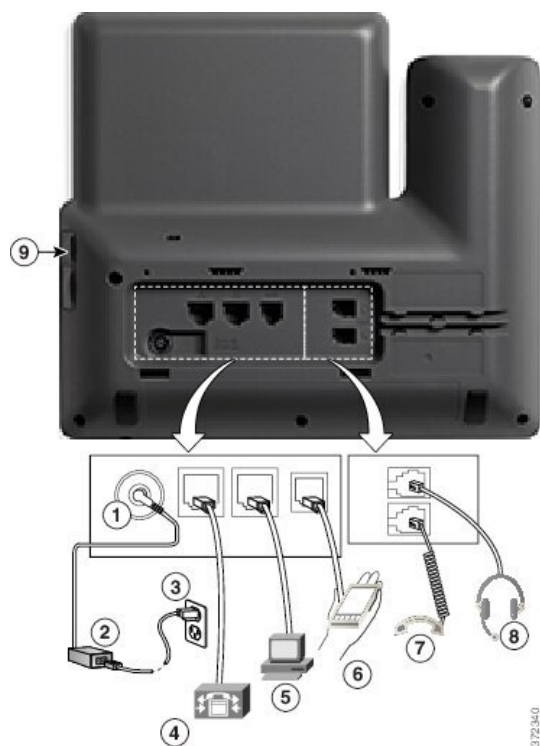


(注) Cisco IP 電話 8841 および 8845 はキー拡張モジュールをサポートしていません。

# Cisco IP 電話 8851

## 電話機の接続部

次の図に示されているように、企業 IP テレフォニー ネットワークに電話機を接続します。



1	DC アダプタ ポート (DC48V)	6	補助ポート
2	AC-DC 電源装置 (オプション)。	7	ハンドセットの接続。
3	AC 電源コンセント (オプション)。	8	アナログ ヘッドセットの接続 (オプション)。
4	ネットワーク ポート (10/100/1000 SW) 接続。IEEE 802.3at 電源対応	9	USB ポート
5	アクセス ポート (10/100/1000 PC) 接続		



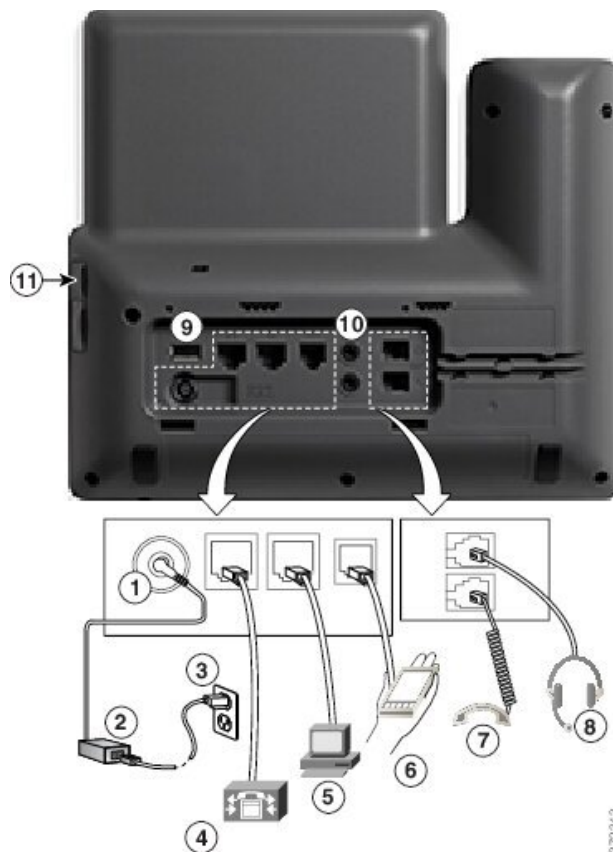
- (注) 各USBポートは、最大5台のサポート対象デバイスおよび非サポートデバイスの接続をサポートしています。電話機に接続された各デバイスは、最大デバイス数に含まれます。たとえば、電話機は5台のUSBデバイス（2台のキー拡張モジュール、1台のヘッドセット、1台のハブ、および1台の別の標準USBデバイスなど）を側面ポートでサポートします。第三者製のUSB製品の多くは複数のUSBデバイスとしてカウントされる場合があります。たとえば、あるデバイスにUSBハブとヘッドセットが含まれる場合は2台のUSBデバイスとして扱われることがあります。詳細については、USBデバイスのマニュアルを参照してください。

## Cisco IP 電話 8861 および 8865

次のセクションでは、Cisco IP 電話 8861 および 8865 の属性について説明します。

### 電話機の接続部

次の図に示されているように、企業 IP テレフォニー ネットワークに電話機を接続します。



1	DC アダプタ ポート (DC48V)	7	ヘッドセットの接続。
---	---------------------	---	------------

2	AC-DC 電源装置 (オプション)。	8	アナログ ヘッドセットの接続 (オプション)。
3	AC 電源コンセント (オプション)。	9	USB ポート
4	ネットワーク ポート (10/100/1000 SW) 接続。IEEE 802.3at 電源対応	10	オーディオ イン/アウト ポート
5	アクセス ポート (10/100/1000 PC) 接続	11	USB ポート
6	補助ポート		



- (注) 各 USB ポートは、最大 5 台のサポート対象デバイスおよび非サポートデバイスの接続をサポートしています。電話機に接続された各デバイスは、最大デバイス数に含まれます。たとえば、電話機では 5 台の USB デバイス (たとえば 3 台のキー拡張モジュール、1 台のハブ、もう 1 台の標準 USB デバイス) を側面ポートでサポートし、さらに 5 台の標準 USB デバイスを背面ポートでサポートできます 第三者製の USB 製品の多くは複数の USB デバイスとしてカウントされる場合があります。たとえば、あるデバイスに USB ハブとヘッドセットが含まれる場合は 2 台の USB デバイスとして扱われることがあります。詳細については、USB デバイスのマニュアルを参照してください。

## ボタンとハードウェア






Cisco IP 電話 8800 シリーズには、次に示す 2 つの異なるハードウェア タイプがあります。











- Cisco IP 電話 8811、8841、8851、および 8861 : カメラなし
- Cisco IP 電話 8845 および 8865 : 内蔵カメラ付き



図 1: Cisco IP 電話 8845 のボタンおよびハードウェア



1	ハンドセットとハンドセットライトストリップ	着信コール（赤色に点滅）または新しいボイスメッセージ（赤色に点灯）があるかどうかを示します。
2	カメラ Cisco IP 電話 8845 および 8865 のみ	ビデオ コールのためにカメラを使用します。
3	プログラム可能な機能ボタンと回線ボタン	 電話回線、機能、コールセッションにアクセスできます。
4	ソフトキー ボタン	 機能およびサービスにアクセスできます。
5	戻る、ナビゲーションクラスタ、およびリリース	<p>戻る  : 前の画面またはメニューに戻ります。</p> <p>[戻る] ボタンを 0.5 秒以上押し続けると（長押し）、メイン画面またはコール画面に戻ります。設定画面が表示されている場合、長押しによりメイン画面に戻ります。いずれかのコール画面が表示されている場合、長押しによりコール画面に戻ります。</p> <p>ナビゲーションクラスタ  ナビゲーションリングと [選択 (Select)] ボタン: メニューをスクロールしたり、項目を強調表示したり、強調表示されている項目を選択したりできます。</p> <p>リリース  : 接続されているコールまたはセッションを終了します。</p>

6	保留/再開、会議、および転送	<p>保留/再開  : アクティブ コールを保留にしたり、保留中のコールを再開したりします。</p> <p>会議  : 電話会議を作成します。</p> <p>転送  : コールを転送します。</p>
7	スピーカフォン、ミュート、およびヘッドセット	<p>[スピーカフォン (Speakerphone) ] : スピーカフォンのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。</p> <p>[ミュート (Mute) ] : マイクフォンのオン/オフを切り替えます。マイクフォンがミュートになっているとき、ボタンは点灯しています。</p> <p>[ヘッドセット (Headset) ] : ヘッドセットのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがオンのときは、ボタンが点灯します。</p>
8	連絡先、アプリケーション、およびメッセージ	<p>連絡先  : 個人用ディレクトリや社内ディレクトリにアクセスします。</p> <p>[アプリケーション (Applications) ]  : 通話履歴、ユーザ設定、電話機の設定、電話機のモデル情報にアクセスします。</p> <p>メッセージ  : ボイス メッセージング システムを自動的にダイヤルします。</p>
9	音量 ボタン	<p> ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンの音量 (オフフック) および呼出音の音量 (オンフック) を調節します。</p>

## ソフトキー、回線ボタン、機能ボタン

電話機で対話式に機能进行操作する方法がいくつかあります。

- ソフトキーは画面の下にあり、ソフトキーの上の画面に表示されている機能にアクセスできます。ソフトキーは、その時点で行っている操作に応じて変化します。[その他... (More...)] ソフトキーは、その他にも使用可能な機能があることを示しています。
- スクリーンの両側にある機能ボタンと回線ボタンを使用すると、電話機能および電話回線にアクセスできます。
  - 機能ボタン：短縮ダイヤルやコールピックアップなどの機能で使用します。また、別の回線での自分のステータスを表示するために使用します。
  - 回線ボタン：通話を始めたり、着信通話に応答したり、保留中のコールを再開するために使用します。回線キーを使用して、コールセッションウィンドウを開いたり閉じ

たり、コールセッションウィンドウをナビゲートすることもできます。回線上のコールを表示するには、コールセッションウィンドウを開きます。

機能ボタンと回線ボタンの点灯は、次のようなステータスを示します。

一部の機能をソフトキーまたは機能ボタンとしてセットアップする事ができます。さらに、ソフトキーや関連するハードボタンを使っていくつかの機能にアクセスすることもできます。

## 用語の違い

次の表に、『Cisco IP 電話 8800シリーズ マルチプラットフォーム フォンUser Guide』および『Cisco IP 電話 8800シリーズ マルチプラットフォーム フォンAdministration Guide』で使用される用語の違いを示します。

表 1:用語の違い

ユーザガイド	アドミニストレーションガイド
回線ステータス	話中 ランプ フィールド (BLF)
メッセージインジケータ	メッセージ受信インジケータ (MWI) または メッセージ受信ランプ
プログラマブル機能ボタン	プログラム可能なボタンまたはプログラム可能な回線キー (PLK)
[簡易化された新しいコール (Simplified New Call) ] ウィンドウ	[簡易化された新しいコール (Simplified New Call) ] バブル
ボイスメールシステム	ボイス メッセージ システム

